

スポーツフェア2019・第2回埼玉県武道祭活動報告

令和元年5月12日（土）、標記イベントが今年度より合同併催となり、埼玉県立武道館にて開催されました。

本年度の第1部、『柔道演武』は、県立武道館柔道教室生が「投の形」を行い、男女のペアという新たな挑戦に挑みました。

武道館で育った子どもたちの演武は、歴史と伝統の世界で、令和にふさわしい新しい時代を感じさせるような、微笑ましい演武でした。



また、第2部の『柔道体験会』では、全体で119名（小学生以下67名・一般41名・指導者11名）の参加があり、お陰様で昨年より59名増加で終えることができました。

その陰には、女子柔道振興委員会の先生方のご活躍があります。

今回は、女子指導者7名の先生方にご協力いただき、体験者の受け入れ準備が万全な態勢で行われました。

『柔道体験会』では、「じゅうどう初体験コース」・「親子でじゅうどう体験コース」・「お友達たくさん作りましょう！合同練習会コース」の3つに分けて行いました。

先ず、「じゅうどう初体験コース」では、やわらかで、しなやかな女性指導者の活躍が目立ちました。女子指導者の優しい雰囲気、柔道場に抵抗感なく入ってきていただけました。たくさんの体験者に感無量でした。



「親子でじゅうどうコース」では、柔道を習っているお子様にお母様が大腰を掛けてみ

るという体験をしました。お母様は、とてもドキドキしたご様子で、子どもたちと一緒に汗を流していらっしゃいました。子どもとの触れ合いの場、親子のコミュニケーションの場をサラッと作り上げた女子指導者の存在は、ここでも光るものがありました。



「お友達たくさん作りましょう！合同練習会コース」では、同じ年代の仲間同士が、それぞれの体格差を感じながら、いつもと違うメンバーで楽しみながら練習することができました。地元の男性指導者や中学生も胸を貸してくださり、回を重ねるごとに温かい交流の場となってきたように感じます。参加してくれた子どもたちが大きくなっても、引き継いで活動していってくれるような武道祭にしていけるよう、努力していきたいです。



埼玉県女子柔道振興委員会は、親子のコミュニケーションと絆が深まるよう、活動を通じて柔道の素晴らしさを発信して参ります。これからも女子柔道振興委員会を応援してくださいませようよろしくお願い申し上げます。



報告者 埼玉県女子柔道振興委員会 委員長 川原 久乃